

「絵画コミュニケーション」

～絵を通して出会う新しい自分～

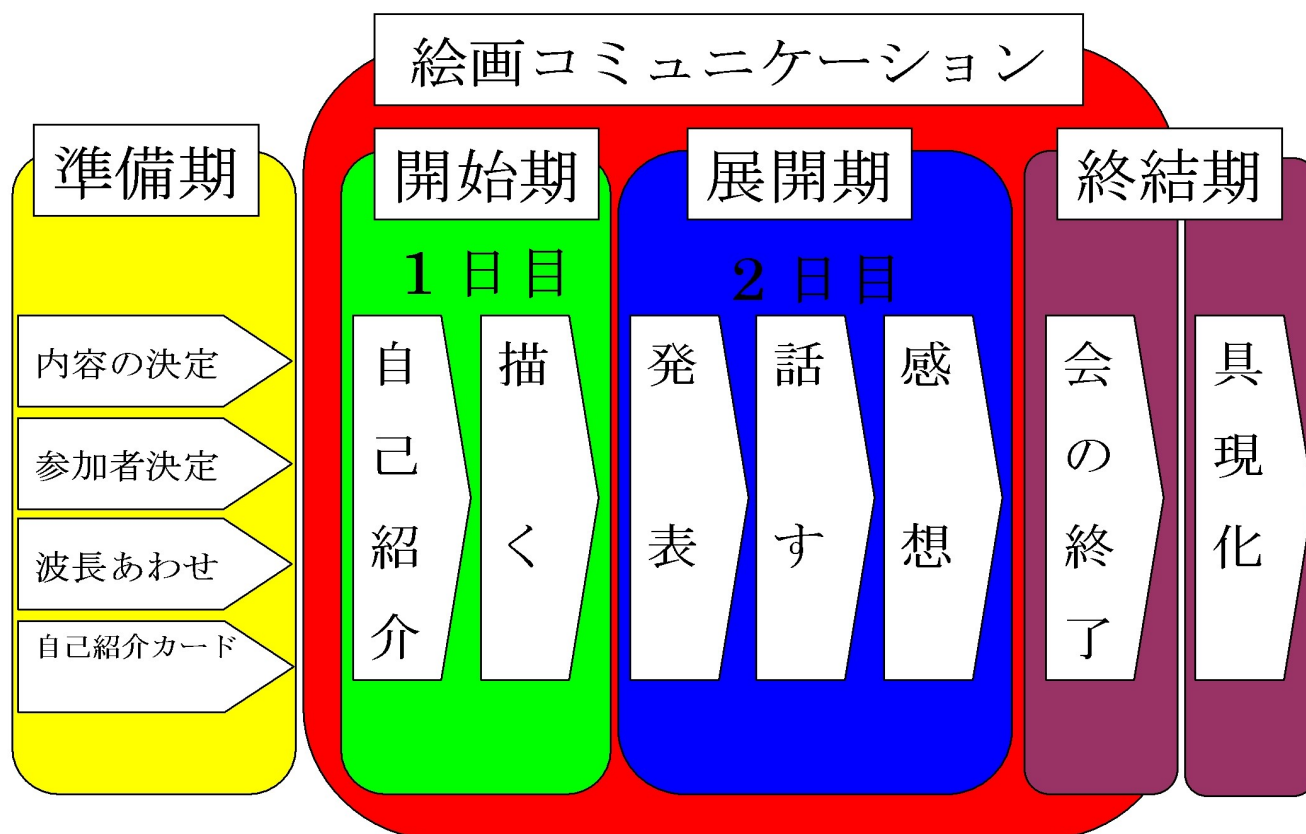
1. 「絵画コミュニケーション」ってなに？

絵画コミュニケーションとは「絵画を媒体にしてニーズを引き出し話をする事」
テーマに沿ってみんなで一緒に絵を描きながら、仕事や趣味の話をする「絵画コ
ミュニケーション」で、新しい「やってみたいこと」が見つかります。
そして、自分のやりたい事や住みたい場所を見つけて選んだりと、自分の人生を
デザインする選択肢がひろがり、エンパワメントされていきます。

2. おすすめポイント

- 「絵」なら、活動中でも、コミュニケーションがとりやすいです。
- 描くテーマを決めるので、共通の話題ができてはじめてあった人とも、
話がはずみます。
- 言葉で説明するのが難しくても、絵があるから伝わりやすくなります。

3. 「絵画コミュニケーション」のイメージ図



4. 「絵画コミュニケーション」取扱い説明書

過程		内容	利用者の動き	支援員の動き・ポイント
準備期	重要	内容の決定		・描く絵のテーマを決定。 →意識を高めたい内容、想いを表現しやすいもの。 ・支援員の役割分担を決定。
		参加者の決定	・「参加したい」と言う。	・興味のある利用者を募集。 ・テーマに合った方を選ぶ。 →参加者同士の関係性を考慮
		波長あわせ		・ケース記録を分析し、参加者と打ち合わせを実施する。 ・必要に応じた内容説明を行なう。
		自己紹介カードの作成		・伝わり易くなるように工夫する。 →施設のパンフレットや好きな事に関する写真を添付するなど。
			自己紹介カードを作成。(利用者・職員)	
絵画コミュニケーション	開始期・1日目	開始の挨拶		・当日の流れや趣旨の説明を行う。
		自己紹介	・勇気を持って、自分の声で話す。 ・自己紹介カードを皆と交換する。	・他の施設を利用している事を意識できるように支援する。 ・参加者間のコミュニケーションを促す。
		絵を描く	・テーマに沿った絵を自由に描く。 (複数枚でも可)	・支援員も一緒に絵を描き、一体感を演出する。 (終了時にはティータイムなどを設定し和やかな雰囲気ですべてを終える)
	展開期・2日目	発表	・皆の前で大きな声で自分の絵を説明する。	・発表に対して、皆が共感できる様に支援・補足説明をする。雰囲気作りも重要。
		お話しタイム	・交流を深める。 (他の参加者との相互効果で自分のニーズを再確認できる)	・描いた絵を媒介にテーマに関して話を掘り下げていく。(情報提供を行う) ・参加者間の交流が深まるように支援する。
		感想・要望	・やってみての感想を言う。	・利用者の感想・要望を精査し、今後の活動・展開に活かす。
終結期	会の終了		・年度や、あらかじめ設定した回数で、活動を終了する。 ・活動の成果を利用者と共に評価する。	
	具現化		・参加者から出たニーズに対し取り組みを行う。顕在化したニーズをもとに個別支援計画等に盛り込み、具現化する。	